

2022年10-12月期 GDP1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:籾田健二)は、内閣府より2月14日(火)に公表予定の2022年10-12月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。
2022年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.5%(年率+1.8%)と予測します。

2022年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.5%(年率+1.8%)と2四半期ぶりのプラス成長を予測する。

民間最終消費は、同+0.6%と予測する。物価高が家計の購買力を下押ししたものの、全国旅行支援による需要喚起もあり、サービス消費を中心に回復したとみる。設備投資は、同▲0.7%と予測する。22年度に入り設備投資は高めの伸びが続いていたが、海外経済の先行き不透明感から製造業を中心に一服したとみる。

輸出は、供給制約の緩和に伴う自動車関連輸出の増加に加え、インバウンド消費の急回復もあり、同+2.9%を予測する。輸入は、前期の反動から鈍化するものの、同+0.7%の増加を予測する。外需は+0.4%ポイントのプラス寄与を見込む。

図表 2022年10-12月期 GDP速報 予測結果

単位: 断りがない限り 季調済前期比 (%)	2021年		2022年			
	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 予測	
実質GDP	1.2 (4.9)	▲0.5 (▲1.8)	1.1 (4.5)	▲0.2 (▲0.8)	0.5 (1.8)	
民間最終消費	3.2	▲1.0	1.7	0.1	0.6	
民間住宅投資	▲1.3	▲1.7	▲1.9	▲0.5	▲0.2	
民間企業設備投資	0.7	▲0.4	2.0	1.5	▲0.7	
民間在庫	寄与度 ▲0.2	0.8	▲0.3	0.1	▲0.3	
政府最終消費	▲1.1	0.5	0.7	0.1	0.8	
公的固定資本形成	▲3.6	▲3.1	0.7	0.9	▲1.2	
財・サービス 輸出	0.6	1.2	1.5	2.1	2.9	
財・サービス 輸入	0.3	3.7	1.0	5.2	0.7	
内需	寄与度 1.2	0.0	1.0	0.4	0.0	
民需	寄与度 1.6	0.1	0.8	0.4	▲0.1	
公需	寄与度 ▲0.4	▲0.1	0.2	0.0	0.1	
外需	寄与度 0.0	▲0.5	0.1	▲0.6	0.4	
名目GDP	0.9 (3.4)	0.2 (0.7)	1.0 (3.9)	▲0.7 (▲2.9)	2.2 (9.1)	
GDP デフレーター	前年同期比 ▲0.3	0.4	▲0.2	▲0.3	1.7	
国内需要 デフレーター	前年同期比 2.1	2.6	2.8	3.2	3.6	

注:シャドー部分が今回の予測値。
出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 菊池紘平 堂本健太
電話:03-6858-2717 メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
メール:media@mri.co.jp
